

個別課題: 臨床心理士による骨髄移植患者への新規介入症例数  
 (平成30年7月1日～12月末日)

施設名:	Plan (計画)	Do (実行)	Check (評価)	Act (改善)
17 大阪国際がんセンター	40件	臨床心理士の採用で2名体制となったため、長期の入院や治療となる造血幹細胞移植患者への関与を全例実施する。具体的には臨床心理士が移植症例の初診時から入院中、退院後も継続してサポートしていく。	56件	今年度の数値目標は達成。入院中に介入した患者の多くは外来でも定期的なフォローを継続している。今後は移植患者への認知機能評価も検討していく。